

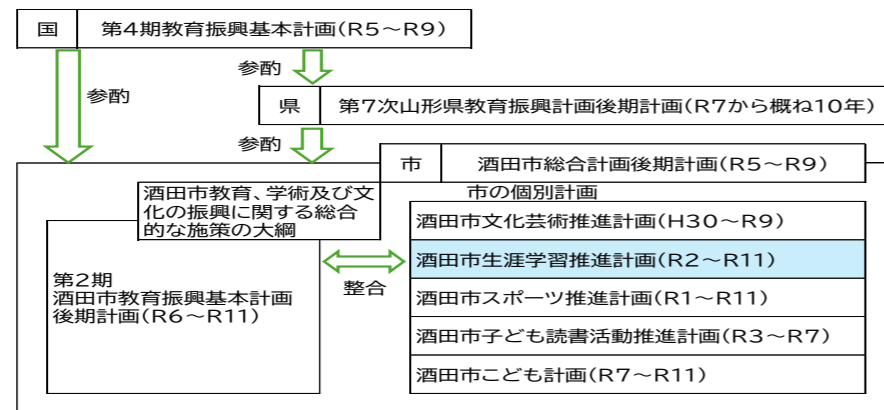
酒田市生涯学習推進計画（後期計画） 概要版

第1章 計画の策定

第1節 計画策定の趣旨

人生100年時代を見据え、「いつでも」「どこでも」「だれでも」、全ての市民が生涯学習活動に取り組み、自ら学び、他者とつながり、個人だけでなく地域が幸せや豊かさを感じられ、人々が安心して暮らすことができる持続可能なまちづくりにつながるよう生涯学習活動の充実を目指すため、第2期酒田市教育振興基本計画(後期計画)との整合性を図り、本計画を見直しするものです。

第2節 計画の位置づけ



第3節 計画の期間

令和8年度から令和11年度までの4年間とします。

第4節 国・県の動き

(1) (国) 第4期教育振興基本計画

コンセプト：「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」
「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

(2) (県) 第7次山形県教育振興計画

目標：ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり

※第5次山形県生涯学習振興計画（H30～R4）は、期間終了後、山形県教育振興計画に包含されています。

第2章 計画の目標と基本方針

第1節 目標

キャッチフレーズ	学ぶ つながる 生かす 人生100年時代の生涯学習
基本目標	人づくり：自ら学び、考え、時代の変化に対応できるたくましい人を育みます 地域づくり：酒田の良さを愛し、地域社会を協働で創る担い手となる人を育み、持続可能なまちづくりに努めます

第2節 基本方針

- (1) 《学ぶ》人生100年時代を見据えた学びの推進
- (2) 《つながる》市民の心を豊かにする「知」の拠点機能の拡充
- (3) 《生かす》生涯学習の学びの活用

第3節 重点施策

- (1) 図書館の持つ様々な機能の拡充
- (2) 地域と学校の連携強化による地域づくり・人づくりの推進（スクール・コミュニティの推進）

第4節 計画の体系

基本目標	基本方針	主な施策
人づくり： 自ら学び、考え、時代の変化に対応できるたくましい人を育みます	《学ぶ》 人生100年時代を見据えた学びの推進	1 生涯学習機会の提供 (1) 各種講座の充実 (2) 学習成果の発表の場の確保
		2 家庭・学校・地域での学び (1) 家庭教育支援の充実 (2) 学校での学びの充実 (3) 地域での学びの充実
		3 広報・情報提供体制の充実 (1) 学習情報の発信
地域づくり： 酒田の良さを愛し、地域社会を協働で創る担い手となる人を育み、持続可能なまちづくりに努めます	《つながる》 市民の心を豊かにする「知」の拠点機能の拡充	4 図書館の持つ様々な機能の拡充【重点施策】 (1) 図書館サービスの拡充 (2) 子ども読書活動の推進
		5 関係機関との連携の推進 (1) ミライニの利用推進 (2) 学校、大学等との連携
生涯学習の学びの活用	《生かす》	6 地域と学校の連携強化による地域づくり・人づくりの推進(スクール・コミュニティの推進)【重点施策】 (1) 地域学校協働活動の充実
		7 郷土愛にあふれた人材の育成 (1) 地域人材の育成 (2) 公益活動の充実

第3章 施策の展開

第1節 生涯学習機会の提供

1 現状と課題：

現代は「VUCA」の時代であり、将来の予測が困難で先行き不透明な社会と言われるなかであっても、市民、地域が幸せや豊かさを感じられるように、市民が意欲を持って生涯学習に取り組めるよう機会を提供する必要があります。

2 主な施策の方向性

(1) 各種講座の充実：市民の学習ニーズにそった内容や地域課題の解決につながる内容など特色ある講座等を開催していきます。

(2) 学習成果の発表の場の確保：総合文化センターや酒田駅前交流拠点施設ミライニ、出羽遊心館など公共施設を提供するなど市民の学びの成果を発表する場や機会を確保していきます。

第2節 家庭・学校・地域での学び

1 現状と課題：

少子高齢化、核家族化、共働きの増加、地域の人間関係の希薄化など、身近な人から子育てを学んだり、相談できたりする機会が少なくなっていることなどから、保護者の孤立化が心配されます。

2 主な施策の方向性

(1) 家庭教育支援の充実：親子がふれあう学習機会や保護者が子育ての不安や悩みを相談できる場などを小・中学校や保育園及び認定こども園と連携して提供していきます。

(2) 学校での学びの充実：多様な経験や知識を持つ地域の人と子どもたちが一緒に活動することで子どもの学びが豊かになるよう、地域と学校が協働できるよう支援していきます。

(3) 地域での学びの充実：地域と学校が協働して子どもたちの学びを応援・支援し、未来を担う人材を育成していきます。また、各地域で青少年の健全育成に取り組む団体等の連携を図っていきます。

第3節 広報・情報提供体制の充実

1 現状と課題：

市民が学習情報を得る手段として、広報紙などの紙媒体、ホームページ、SNSなど多様化している中、各自の目的に合った情報をいかに得やすいものにするかが求められています。

2 主な施策の方向性

(1) 学習情報の発信：生涯学習に関する情報や生涯学習サークルの活動内容の紹介、イベント情報など受け取る側の利便性も考慮しながら発信していきます。

第4節 図書館の持つ様々な機能の拡充【重点施策】

1 現状と課題：

酒田駅前交流拠点施設ミライニで多くのイベントが開催されることから市民にとって身近な場所であり居場所となっています。図書館に足を運んでもらうことにより、読書への関心へつながり、さらに効果的な取り組みにより知的好奇心が高まり、読書習慣を形成することが求められています。

2 主な施策の方向性

(1) 図書館サービスの拡充：図書館が「学びたい、知りたいに応え、地域課題の解決への支援を担う知の拠点」としての役割を果たすため、図書資料を充実し、図書館職員の研修を実施するなどスキルアップに努め、レファレンス機能の向上を図っていきます。

(2) 子どもの読書活動の推進：ブックスタート事業、読書手帳、家読チラシの配布など保護者が絵本選

びのきっかけづくりとなるよう、切れ目なく支援していきます。特に、中高生の読書活動の推進について検討していきます。

第5節 関係機関との連携の推進

1 現状と課題：

酒田駅前交流拠点施設ミライニは、賑わい創出の拠点・交流の拠点であり、多様な組織、団体と連携することでさまざまな住民のニーズに応え、新たな情報や知見を得て地域課題の解決に取り組み、交流を促進することが求められています。

2 主な施策の方向性

(1) ミライニの利用推進：交流拠点施設として、地域の各種団体、商店街、民間企業等との連携を通じて、図書館機能だけではなく、多角的な学びと交流を促進する場として賑わいを創出していきます。

(2) 学校、大学等との連携：市民の読書活動を推進するため、学校巡回文庫や団体貸出の制度を周知します。また、東北公益文科大学や他の図書館との相互貸借を行い、市民の読書活動の利便性向上を図ります。

第6節 地域と学校の連携強化による地域づくり・人づくりの推進

(スクール・コミュニティの推進)【重点施策】

1 現状と課題：

少子高齢化が進み、学校統合などにより地域と学校の関りも変化してきています。地域と学校が双方の強みを生かし、協働して地域づくり、人づくりをしていく仕組みづくりが必要となっています。

2 主な施策の方向性

(1) 地域学校協働活動の充実：地域と学校がビジョンや目標を共有し協働して子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域づくり・人づくりを推進していきます。

第7節 郷土愛にあふれた人材の育成

1 現状と課題：

子どもたちの地域活動への参加や自然や文化に触れる体験の機会が減少している中で、地域への誇りや愛着が薄れることが心配されています。また、地域活動を推進するリーダーやコーディネート役の人材の確保が課題になっています。

2 主な施策の方向性

(1) 地域人材の育成：さまざまな地域住民から子どもたちが直接話を聞いたり実際に体験したりする機会を提供していくことによって、郷土愛を身に付けていく土壌をつくっていきます。また、コミュニティ組織の職員の研修や情報交換の場を設けて、スキルアップを図っていきます。

(2) 公益活動の充実：自分自身の学びから、その学びを社会で生かしたい、誰かの役に立ちたいと還元していくことが公益活動への第一歩です。その活動が地域の教育力の向上、活性化、住み良い地域づくりにつながるよう人材の育成や環境づくりに取り組みます。

○成果指標

		現状値	目標値 令和 11 年度
1	《学ぶ》 生涯学習を行っている市民の割合	58.6% (令和 5 年度)	70%
2	《つながる》 市民 1 人あたり中央図書館入館回数	5.2 回 (令和 6 年度)	5.4 回
3	《生かす》 生涯学習の成果を地域・まちづくり で生かしたいと思う割合	75.2% (令和 5 年度)	80%

※ 1、3 の現状値は、酒田市教育振興基本計画後期計画策定時に教育委員会が実施した市民アンケートより (R5 のみ実施)。

○目標数値

1. 生涯学習機会の提供

	指標	現状値 令和 6 年度	目標値 令和 11 年度
1	生涯学習まつり参加団体数	42 団体	45 団体
2	生涯学習まつり参加人数	2,342 人	3,000 人

2. 家庭・学校・地域での学び

	指標	現状値 令和 6 年度	目標値 令和 11 年度
1	生涯学習講座回数	390 回	400 回
2	生涯学習講座満足度 (参加者アンケート)	99%	100%

3. 広報・情報提供体制の充実

	指標	現状値 令和 6 年度	目標値 令和 11 年度
1	ホームページ閲覧数 (社会教育分野)	51,274 回	56,400 回

4. 図書館の持つ様々な機能の拡充

	指標	現状値 令和 6 年度	目標値 令和 11 年度
1	市民 1 人あたり館外貸出冊数	4.8 冊	4.9 冊
2	15 歳未満の 1 人あたり図書貸出冊数 (※)	14.5 冊	15 冊

(※) 児童書貸出冊数 ÷ 15 歳未満の人口

5. 関係機関との連携の推進

	指標	現状値 令和 6 年度	目標値 令和 11 年度
1	中央図書館の団体貸出の冊数	8,558 冊	10,000 冊

6. 地域と学校の連携強化による地域づくり・人づくりの推進

(スクール・コミュニティの推進)

	指標	現状値 令和 5 年度	目標値 令和 11 年度
1	地域行事への参加率 (市民アンケート)	48.9%	60%

7. 郷土愛にあふれた人材の育成

	指標	現状値 令和 6 年度	目標値 令和 11 年度
1	地域人材交流講座の延べ回数	265 回	280 回
2	地域の教育力向上 スキルアップ講座の参加人数	25 人	36 人